

地域の経済動向（令和3年4～6月期）

《釧路・根室地域》

1 経済動向に係る企業等の声（4～6月期）

【建設業】

- ・担い手不足、高齢化が課題であり、公共工事の減少を懸念している。（土木工事業）
- ・国の補助事業による畜産クラスター事業の牛舎新築や敷地造成工事が増えている。また、農家独自に実施する草地改良工事を受注する機会が増えたため、売上は増加している。（建設業）

【製造業】

- ・昨年の道東の昆布漁は、水温が暖かかったためか、特に不漁だったが、6月頃から始まる棹前昆布等の漁に期待している。また、一度商品を試してくれればリピートしてくれる顧客は多い。ただ、従業員2名で生産している状況のため、あまり大口の取引はできない。（水産加工業）
- ・現在、売上が安定しているふるさと納税が収益の中心になってきている。（水産加工業）
- ・受注自体は増えているが、昆布の不漁により供給できない状況。（水産加工業）
- ・ウニのとれる量は減っている。世界情勢の影響を受けやすく、中国が買い占めると価格が高騰し、売上が安定しない。（水産加工業）
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で売り上げが減少しているため、持続化給付金等で対応している。また、設備の老朽化のため新たな機材を導入するための資金調達が必要であり、融資や補助金を活用する予定。（水産加工業）
- ・ウニの供給については、ロシア（サハリン、四島、日本海）からのバフンウニの価格が高騰している。需要については、国内は東京、九州、川崎の市場へ卸しているがコロナの影響で低迷している。海外は中国、台湾、インドネシア、アメリカへ輸出が継続的にある。（水産加工業）
- ・観光客向けの商品が中心であり、販売方法については宿泊先へ赴いて商品の売り込みを行っていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により観光客の減少が続いており、厳しい状況である。（水産加工業）

【卸売・小売業】

- ・半導体不足による車両の納期の長期化が課題。（自動車小売業、自動車整備業）
- ・コロナ後の経営は、経営環境が大きく変わること覚悟しなくてはならない。（衣服卸売業）
- ・卸売業として周辺地域の生産物を集めて、各小売店等へ卸している。こうした中、管内地域の農業者、漁業者の高齢化が進み、生産者の数が減少している。（卸売業）







【運輸業】

- ・昨年1月に新しい船を造り、人員も補強しましたが、1年以上も定員の半分での営業もしくは休業している状況が続き、返済もある中、大変苦しい状況です。（沿海海運業）

【サービス業】

- ・ブライダル業界は、飲食が伴うため、延期・キャンセルが相次ぎ、先が見通せず不安です。（美容業）
- ・新型コロナウイルス感染予防対策に国費予算が充当されている中で、次年度以降の公共事業予算の縮減が危惧される。（土木建築サービス業）
- ・新型コロナウイルスの影響でオリンピック関連事業が計画的に進まない。（産業用機械器具賃貸業）

















2 道内金融機関から見た地域景況感 (4～6月期)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
非常に好調	好調	やや好調	普通	やや低調	低調	非常に低調
						

【直近の景況感】

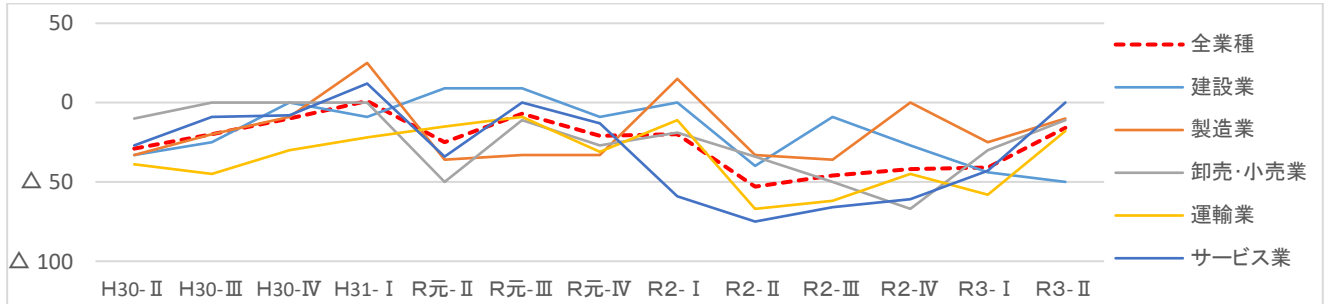
	現在の景況感				次期見通し	
	総合	生産 動向	消費 動向	判断理由	方向感	判断理由
釧路信用金庫				業種により景況感は大きく違うものの、北海道が緊急事態宣言の対象地域となったことで、飲食業や宿泊業(阿寒湖畔、川湯地域)を中心に甚大な影響を受け、関連して小売業・卸売業も影響を受けることとなった。また、ウッドショックの影響により、建設業も対応に苦慮していることから、非常に低調と判断した。		緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の解除、ワクチン接種が本格化することで、徐々に景況感は回復していく見通し。
大地みらい 信用金庫				新型コロナウイルス感染症再拡大に伴い、5月14日に北海道も緊急事態宣言発令の対象となり、航空観光・飲食業への打撃が一層強まった。根室・釧路管内でも大型連休後にクラスターが相次いで発生したことで、外出自粛傾向が顕著に強まり、消費活動も低迷状態が続いているため、総じて低調という判断。		6月20日に緊急事態宣言が解除されてからは、根室・釧路管内で新型コロナウイルスのワクチン接種が順調に進んでいることもあり、人の移動や消費活動が徐々に回復。しかし、東京都では4度目の緊急事態宣言が発令されたほか、道内でも新型株による感染が拡大するなど、リバウンド現象による影響が懸念されるため、引き続き注視が必要と判断。

【景況感の推移】

	R元-Ⅲ	R元-Ⅳ	R2-I	R2-II	R2-Ⅲ	R2-Ⅳ	R3-I	R3-II
釧路信用金庫								
大地みらい 信用金庫								

(「地域別経済動向調査(お天気マーク)」(北海道経済部調べ))

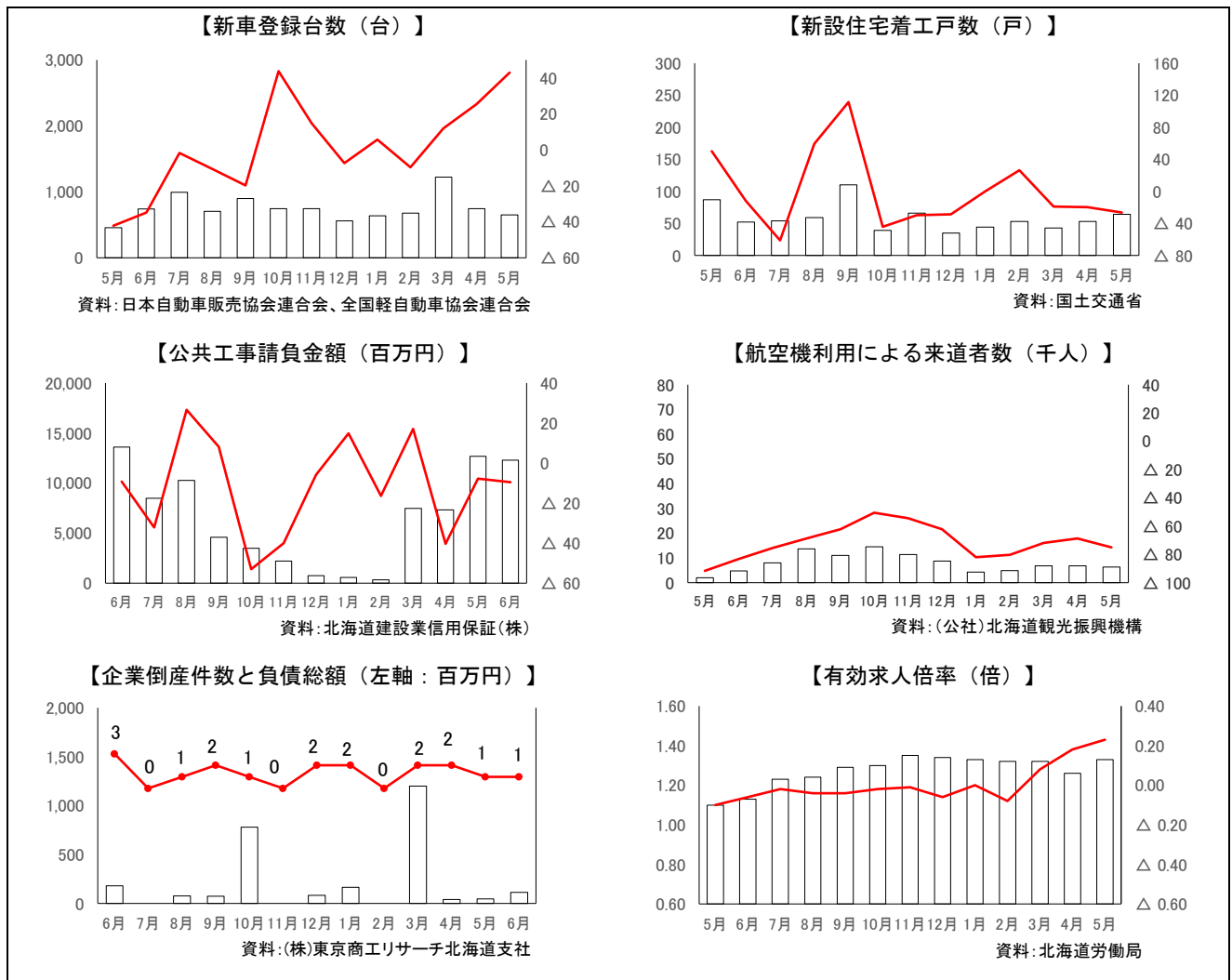
3 業種別の業況感BSI



	H30-II	H30-III	H30-IV	H31-I	R元-II	R元-III	R元-IV	R2-I	R2-II	R2-III	R2-IV	R3-I	R3-II
全業種	△ 29	△ 20	△ 10	1	△ 25	△ 7	△ 21	△ 20	△ 53	△ 46	△ 42	△ 41	△ 16
建設業	△ 33	△ 25	0	△ 9	9	9	△ 9	0	△ 40	△ 9	△ 27	△ 44	△ 50
製造業	△ 33	△ 20	△ 9	25	△ 36	△ 33	△ 33	15	△ 33	△ 36	0	△ 25	△ 10
卸売・小売業	△ 10	0	0	0	△ 50	△ 11	△ 27	△ 19	△ 34	△ 50	△ 67	△ 30	△ 11
運輸業	△ 39	△ 45	△ 30	△ 22	△ 15	△ 9	△ 31	△ 11	△ 67	△ 62	△ 45	△ 58	△ 18
サービス業	△ 27	△ 9	△ 8	12	△ 34	0	△ 13	△ 59	△ 75	△ 66	△ 61	△ 43	0

(「企業経営者意識調査」(北海道経済部調べ))

4 各種経済指標



(右軸：来道者数のみ前々年同月比、その他は前年同月比(差)：%)